

第8回クリーンアップ分科会（7月8日）を開催

本分科会による水耕田の現地除染試験に向けた計画案が提示され、現地試験 WG が設置された。EURANOS による原子力災害後対策ハンドブックの農地に関する箇所の翻訳作業が完了したことが報告された上で、記載されている除染作業データシート全 59 編の翻訳を分科会で行うべきとの提案がなされて了承された。また、総合科学技術会議で実施されている農地修復計画の担当者との情報交換に関する報告があった。

警戒区域及び計画的避難区域における放射線モニタリング結果が示された。また、避難区域などへの帰還のための対策実施メニュー検討例の説明があった。加えて、福島原発の敷地内から生じる放射線廃棄物の処分最適化評価の説明があった。

今後の活動費の管理を担当する会計責任者を設置することとなった。